



東北のみのどり



国有林モニター 現地見学会を開催

企画調整室

林野庁では、国民の意見を反映した国民のための森林づくりを進めるために、国有林モニター制度を設けており、当局においても福島県を除く東北5県にお住まいの35名の方に国有林モニターとして、会議やアンケートなどを通じ、ご意見をお伺いしています。

甚大な被害を受けた宮城県栗原市において、国有林モニター現地研修会を実施しました。

午前中は、飯塚宮城北部森林管理署長による管内概要の説明の後、今年度も復旧工事を実施中の箇所や完成した治山工事の現場で、川浪宮城山地災害復旧対策室長による被害状況や工事概況の説明があり、モニターの方は熱心に聞き入っておられました。



川浪宮城山地災害復旧対策室長による説明
(放森上流治山工事現場にて)

こうした取組の一環として、10月

28日(金)に11名のモニターの皆様にご参加いただき、平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震により

午後からは、ハイルザーム栗駒内にて、栗原市が作成した災害発生時の状況や復旧・復興に向けた各機関の取組等が収録されている「災害の記録」のDVDを鑑賞していただき、モニターの方も真剣に被災当時の様子をご覧になり、被害がいかに大きかったか、また地震後の取組がいかに大変でかつ重要であったかご理解いただきました。

その後、民有林内において、宮城県

知事からの要請により事業を開始し、現在も実行中である民有林直轄治



飯塚宮城北部森林管理署長による説明
(冷沢・御沢治山工事現場にて)

山事業の現場の見学をしていただき、規模が大きい工事や技術的に難しい工事になる場合は、国有林以外の場所でも、林野庁が代行して治山事業を実施することを知っていただきました。

最後に、国有林内の平成21年度に完成したヒアヒクラ沢の現場において、昨年度から植樹活動をしている状況等の説明を受けた後、実際に、

モニターの方にも被災地の復旧・復興を願って植樹活動を行っていただきました。

今年は、3月11日の東日本大震災、また、ゲリラ豪雨や台風など、日本各地で自然災害が多発しており、モニターの方の治山事業に対する関心も高く、普段立ち入れない工事現場の見学もあり、熱心に耳を傾けていただき、ご質問やご意見等も多数いただき、有意義な一日となりました。



植樹後の集合写真
(ヒアヒクラ沢治山工事現場にて)